

令和4年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯農林環境科学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないように注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆(シャープペンシルを含む)がきにすること。

推薦入試小論文問題 亜熱帯農林環境科学科

以下の文章を読んで、下の設問に答えなさい。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）以外にも、実は毎年、新しい種類の感染症が確認されています。COVID-19に続く、第二、第三のパンデミック（世界的な感染症の拡大）を軽減するために、キーワードとして注目されているのが、「ワンヘルス（One Health）」という考え方です。人・動物・生態系、この3つの健康を1つのものとみなして守っていくことを訴える考え方です。

世界の経済、社会などあらゆる側面に影響を及ぼしている COVID-19 は動物から人に感染する人獣共通感染症の一つです。感染症の種類は、過去 100 年間に急激な増加の一途をたどってきました。SARS（重症急性呼吸器症候群）やエボラ出血熱など、新型コロナウイルス以前に世界を震撼させた感染症も、近年新たに確認された新興感染症です。これら新興感染症の増加は、世界の人口の増加、人やモノの移動距離の総数、森林破壊など進行する自然破壊の深刻さの増加する傾向と一致しています。特に野生動物から家畜や人に感染する人獣共通感染症は、自然破壊と深い関わりを持っています。それは、もともと野生動物の持っていた病原体が、人に感染する機会が増加したためです。つまり環境問題が深刻化した結果として、新興感染症の多発が起きています。

新興感染症の発生を抑えるため、また、そのパンデミックを軽減するためには、何が必要でしょうか？人の病気の治療や予防にはワクチンや治療法の開発が欠かせませんが、これだけでは、新興感染症の発生を抑えることはできません。また、病原体を媒介するのは人だけではなく世界中で飼育されている家畜も同様です。新興感染症の発生原因となっている野生動物の生息環境の破壊を単純に防ごうとしても、開発が行われる背景には、経済や現地の社会的な課題があります。こうした視点で考えると、自然（生態系）と、野生動物と家畜、そして人の健康を総合的に健全な状態に保ち、守っていくことが必要になります。これは単に人や動物、生態系の健康がそれぞれ守られれば良いということではありません。3つの健康を重ねて一つにしてみることで、その周辺には関係する課題がさまざまにあり、地球環境はもとより、人の社会や経済、舵取りを担う政治や、大きな影響力を持ったビジネスなど、さまざまな分野に関わりを持っていることに気がつきます。「ワンヘルス」は、これらの課題が持つ「つながり」に対して、対応する各分野が協力してこの課題解決に取り組むことを目指す考え方です。分野の壁を越えた協力をできるかどうか、「ワンヘルス」実現の大きなカギの一つです。

問1 下線部に関して、新興感染症の発生と自然破壊の関係について、あなたの考えを 300 字から 400 字以内で記述しなさい。

問2 「ワンヘルス」に関する文章を読んで、新興感染症の発生を抑えるため、また、パンデミック軽減のために、具体的にどのように生態系を守ることが必要か、あなたの考えを 700 字から 800 字以内で記述しなさい。

令和4年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯農林環境科学科

出題の意図

亜熱帯農林環境科学科は、農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、生物資源・環境の機能や特性の解明に興味をもつ人、生物生産と自然環境との調和を目指す人、生物多様性の理解を通じて環境保全に貢献したい人材をアドミッションポリシーとして掲げている。そこで、ワンヘルスについて題材として、農林環境の保全・保護と農業振興に関する問題意識を問うことで、発想力・論理的な考察、および自分の考えを表現する能力を兼ね備えているかを総合的に評価する。